

子育て環境における ※DX推進を

※デジタルトランスフォーメーション
デジタル技術を浸透させることで、人々の生活を
よりよいものへと変革すること。

市長 どういうふうに使っていくかとい うことが大事

問 マイナンバーカードを使っ
たDXの現状は。
市長 マイナンバーカード取得
率は80・7%。14市で上から2
番目の取得率である。課題は取
得が進んだものの、利活用の浸
透にまで至っていない。

問 母子手帳などスマートフォ
ンのアプリを使用しては。
市長 母子手帳の交付は、保健
師や助産師と妊婦が顔を合わせ
る最初の機会であり、信頼関係
構築のためにも、対面での交付
は重要であることから、DX化
を推進していくとともに、引き
続き伴奏型支援に努めてい
く。

問 学校への提出書類をデジタ
ル化しては。
教育長 保護者が学校へ書類を
提出していただくことによつて
は、保護者と学校関係者が対面
で、その考えや家庭の状況など
を伺う貴重な機会であることを
含めて、そういったことを検討
する必要がある。

問 子育てするなら遠野をPR
するために、いち早く取り組
むべきではないか。
市長 DXに流されず、しっか
り子育ての環境を整え、教育を

していくということも力を入れ
ていかなければならない。

**次世代に
負担を残さない
公共施設等の
管理の在り方を**

問 公共施設等の現状と課題
は。
市長 遠野市が保有する全ての
建物を更新した場合、現時点の
試算では、1169億円かかる
だけ集約を図っていく。

進化するDX—母子健康手帳の電子アプリ
「母子モ」(左)と現在の母子健康手帳(右)



進化するDX—母子健康手帳の電子アプリ
「母子モ」(左)と現在の母子健康手帳(右)



遠野市の長寿命化
計画に基づく遠野
市立小学校の工事

問 人口減少に伴う今後の小
学校施設の長寿命化計画の見通
しは。
教育長 地域の方々や保護者か
らの意見や社会状況情勢等も踏
まえながら見直しを行う。

問 今後の公共施設整備につ
いての考え方は。
市長 しっかり地域や関係者の
方々と話し合いをした上で進め
ていく。

公共施設等の管理

遠野市では、平成28年に国の指針により、公共施設の効率的かつ効
果的な維持管理を推進するための基本方針について、「公共施設等総合
管理計画」を策定しました。その後、令和4年3月に改訂。個別計画は
平成29年に策定後、令和2年、令和5年に改訂をし、この計画のもとに、
公共施設を管理、維持しています。

遠野市の学校においては、遠野市公共施設等総合管理計画に基づ
く学校施設の個別計画として遠野市学校施設長寿命化計画(計画期間:
令和3年度から令和12年度まで)を策定しており、5年を目途に見直
しを行うこととしています。

マイナンバーカード

マイナンバーカードとは、日本に住民票がある全員に対して割り当てら
れた個人番号(マイナンバー)が記載されたカードです。顔写真付き身分
証明書として使うこともでき、コンビニエンスストアで、住民票の写しや、
印鑑登録証明書などが取得できます。また、確定申告や健康保険証として
も利用することもできます。

遠野市では、マイナポータルぴたりサービスから電子申請で、引越
し手続きや、妊娠の届出、保育施設等の利用申込みや、要介護・要支援認
定の申請など、子育て関係15手続き、介護関係11手続きなどを行うこと
ができます。

一般質問

9人の議員が市政を問う!

QRコードをスマートフォンで
読み込むと一般質問の動画を見
ることができます。

千田 由美子 議員
・子育て環境におけるDX推進を
・公共施設等の管理の在り方



昆 明美 議員
・施政方針演述、農業振興の具体策



佐々木 敦緒 議員
・本市の空き家対策は
・遠野市畜産振興公社改革の考えは



宮田 勝美 議員
・製造業、ものづくり産業の現状
・加速する人口減少問題



小松 正真 議員
・DX計画について



小林 立栄 議員
・新年度予算、共創の取り組み
・地域全体で家庭教育支援の充実を



菊池 美之 議員
・自治体広域連携でのDX推進
・地域防災計画について



佐々木 大三郎 議員
・ハコモノ行政からの脱却を
・リスク管理と危機管理のあり方



菊池 忠信 議員
・産直の運営と防災機能
・ペレット堆肥製造の進捗状況

